

恩師堀先生を偲んで

荒川九兵衛

「先生、このアジサイは？」「それ、蕾を見なさい。玉のようだろう。」「あ、そうだ。タマアジサイですね。」「そう。」---「これは何ですか。」「ネコノメソウ。莖が横に伏して節の所から根を下すのが特色だよ。」---「先生、あの花は何ですか。」「どれ、どの花かね。」「向うのあの花です。」「取って来なさい。手に取ってよく見ないとだめだよ。」「あ、危いよ。足許に気をつけないと怪我するよ。」---「これはオオバシヨウマ。キンボウゲ科のものだよ。」---「これはブナですか。」「あそう、ブナの木だが葉の毛はどう？」「葉の裏一面に毛があります。」「それではイヌブナだ。ブナは脈の上には毛はないからね。」

これは、先生と博物館の資料採集のためにお伴をして行った時の思い出の一コマですが、先生が植物を深く、しかも詳しく研究なさっておられ、その深さの程が如何程であるか私達には想像もつかぬ位で、何時も敬服していました。一方、先生の優しいお人柄の一端も伺うことが出来ると共に、常に私達後輩を育ててやろうという暖かいお心が会話の中ににじみ出ています。

又、こんなひとときもありました。採集に出かけ、木陰の青草の上に腰を下し、握飯を食べながら、しみじみと「山での昼ご飯は本当においしいね。」「こうやって健康で歩き廻る事の出来ることこそ、私にとってこれに優る幸わせはないよ。」そして食後しばらく横になり、木の間より見える大空を見上げながら「青空はいいね。世の中の嫌な事や学校での諸々の煩雑さや悩みを吹っ飛ばして呉れるね。空気はおいしいし、本当に素晴らしい。だのに近頃の若い先生方は採集会に参加しながらないね、変な世の中になって来たものだ。その上山の大木は片端から切り倒され、裸になってしまい、自然は次から次へと破壊されて行ってしまうし、このままだと将来はどうなるだろうね。心配でならないよ。」先生は科学者として如何に自然を愛し、自然に親しんでおられたかがこのひとこまで伺い知れると共に今日のような自然の荒廃を最も心配なさっていた事が分ります。

さて、恩師堀先生と私の出会いは、大正15年4月福井中学校に入学した時でした。当時の中学校の生物室には二人の先生がおられたので、生徒として教えて頂いたのは2年生になってからだったのですが。然し、田園で動物や植物を相手として大自然と共に育った田舎者にとっては、準備室に整然と並べられた素晴らしい動植物の標本や鉱物化石の標本が珍しく、見たくて見たくて耐えられず、恐る恐る先生の許可を得て見せてもらったものです。とても優しい、何でも教えて頂ける先生、コンニャク先生、それが堀先生だったのです。それ以来約50年間、私にとっては学校の教師として、社会人としても先生の教えを受けて来ました。従って先生が亡くなられた事は暗夜に灯を失ったようなもので本当に残念でなりません。

堀先生は本当に偉大な先生でありました。その上優しさの中にも厳しさのある慈父のような先生でした。

昭和20年7月福井市は米軍の大空襲によって灰燼と帰し、終戦を迎え漸く立ち上がったが、昭和23年6月28日の大地震で再び潰滅してしまった。然し二度の大災害にも負けなかった福井市民は不死鳥の精神を発揮して復興した昭和26年、当時の熊谷市長を中心に福井復興博覧会開催が具体化し、翌年4月開会が決定した。その際、福井市郷土博物館の建設が計画の中に組入れられました。この大事業を堀先生だからこそ、たった一ケ年で見事になし遂げられたのです。先生の偉大なお力と先生ならではのお人柄故に、協力した私達もその責任を果たし得たのです。中でも私の担当した岩石、鉱物、化石部門は先生のお得意部門であったから、唯先生のご指示に従って県下の至る処へ出かけ、立派な標本を集めることが出来ました。又、開館後も資料収集のため先生のお伴で方々を歩き廻っている間に植物の分類を教えて頂き、少しは植物の名前を知ることが出来ました。これも先生のお伴させて頂いたお陰です。私にとっては本当にお世話になった大恩人でした。

私は今日でも県下の至る処へ出かける機会に恵まれ、懐しい各地に出かけていますが堀先生達と一しょに歩き廻った自然は開発という破壊者によって、すっかり荒らされてしまっています。若し先生がお元気で採集に出かけられたら、どんなに悲しみ嘆かれる事でしょう。

むしろ先生にとっては考え方によっては本当に仕合せだったとも言えます。それ程自然は荒れてしまい、先生との思い出の採集地が年々消滅していくのが残念でなりません。然し先生ご安心下さい。今日になって漸く自然を大切に保護し、緑を育てましょうとの声が大きくなり、何年か後には昔のような大自然が戻って来て呉れるでしょう。又その時はあの世で先生のお伴をし、自然を満喫いたしましょう。先生、その時は又お世話になります。どうぞよろしく願います。